

Table with 4 columns: 作物名 (Crop Name), 適用病害虫名 (Applicable Disease/Insect Name), 使用量 (Usage Amount), 適用雑草および使用量 (Applicable Weeds and Usage Amount).

※本製品は農業用土壌消毒剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

【使用方法】 ●使用時期: 作付けの10～15日前まで[注: たばこは、作付の30日前まで。] ●使用回数: 1回 ●D-Dを含む農業の総使用回数: 1回 ●クロルピクリンを含む農業の総使用回数: 1回

■使用上の注意

- (1) 生育中の作物には薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。 (2) 温度が低いと本剤のガス化が悪く、十分な効果が得られないこともあるので、なるべく地温が7℃以上の時使用してください。

■安全使用上の注意

- (1) 医薬用外劇物、取扱いは十分に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。 (2) 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。

ソイリーン®の空缶処理のお願い

- ソイリーン®の空缶処理は次の手順できちんと行ってください。 (1) 口栓をはずし、逆さにして薬液を土中にしみ込ませ、缶を空にしてください。

元氣な野菜づくりには 三井ソイリーン® 土壌消毒剤

クロルピクリン・D-Dくん蒸剤

【医薬用外劇物】 消防法: 危険物第4類 第2石油類 ソイリーンは(株)エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です

1回の処理で センチュウ類・土壌病害・一年草雑草を同時防除



刺激臭が少なく、使いやすい

クロルピクリンの刺激臭が少なく、露地だけでなく、施設内でも使えます。



有効成分: クロルピクリン...41.5% [PTR: 1種285] 1,3-ジクロロプロペン(D-D)...54.5% [PTR: 1種179] 包装: 15kg(缶)×1

雑草防除効果



上手な使い方 1 圃場の準備 2 注入

畑内に残っている茎葉や根など(特に病気や線虫におかされたもの)は、できる限り取り除いてください。注入は30cm間隔のチドリ状で、深さ約15cmに所定量を注入します。

4 被覆(除去) 5 移植(播種)

作付けの1～2日前に畑を耕起してガス抜きを行ってください。地温が低い場合は作付けまでの期間をさらに長くしてください。 (1) ガスが抜けたあとで植付けますが、念のため植付けの前に畑の2～3カ所を掘って、薬剤の臭いがしないことを確認してください。

3 被覆(消毒)

注入後はポリエチレンシート(厚さ0.03mm以上)などで地表面を必ず被覆してください。作業に際しては、マスク・メガネなどの保護具を着けてください。10日～15日程度そのまま放置します。地温が低い場合は期間をさらに長くしてください。

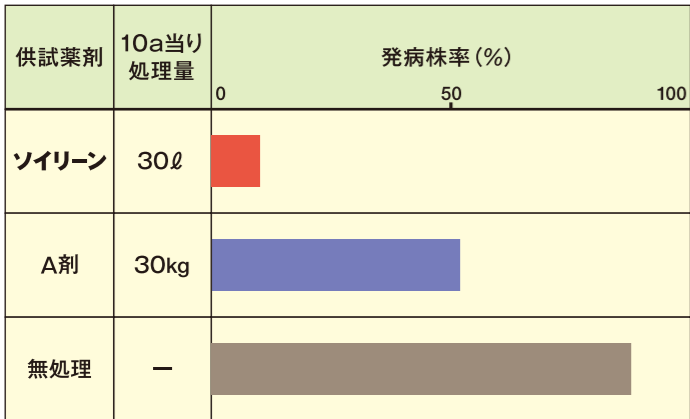
6 消毒後の注意

ソイリーンで消毒した畑には、他からセンチュウ・病原菌などを持込まないようにすることが大切です。 (1) 汚染土で使った農機具などはよく洗い、病原菌をつけたまま畑に持込まないようにしてください。

■ 土壌病害防除効果

ホウレンソウの萎凋病

(平成11年、山口県農業試験場)

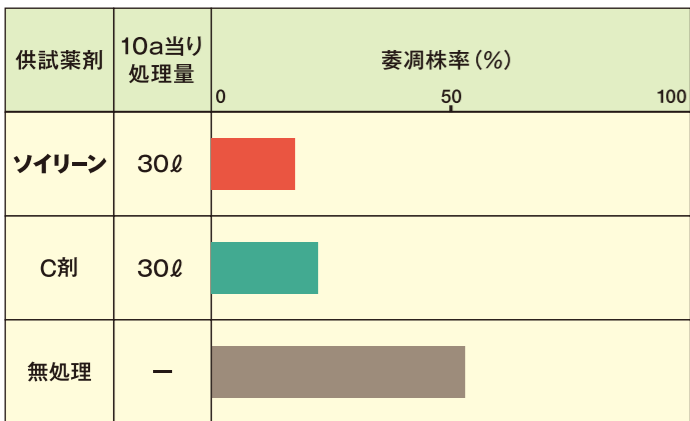


供試品種:アクティブ 発生程度:甚発生 処理方法:7月15日にソイリーンは、30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、A剤は土壌表面に所定量処理・混和後、両剤とも農ボリで被覆した。7月22日に被覆除去、ガス抜きを行なった。播種日:8月3日 調査:9月22日に発病株数を調査した。

結果:ホウレンソウ萎凋病に対してソイリーンは対照A剤に勝る優れた効果を示した。

メロンの黒点根腐病

(平成11年、愛知県農業総合試験場園芸研究所)

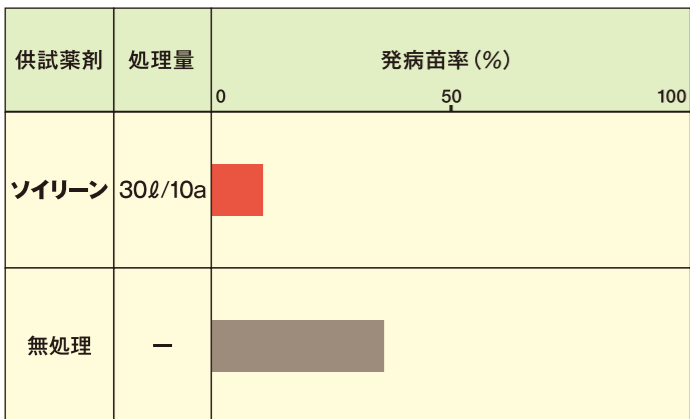


供試品種:夏系15号 発生程度:多発生(接種) 処理方法:5月17日に供試薬剤を30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、農ボリで被覆した。5月2日に被覆除去、ガス抜きを行なった。定植日:5月27日 調査:8月31日に地上部の発病株数を調査した。

結果:メロン黒点根腐病に対してソイリーンは対照C剤に勝る優れた効果を示した。

オクラの苗立枯病(リゾクトニア菌)

(平成16年、日本植物防疫協会研究所)



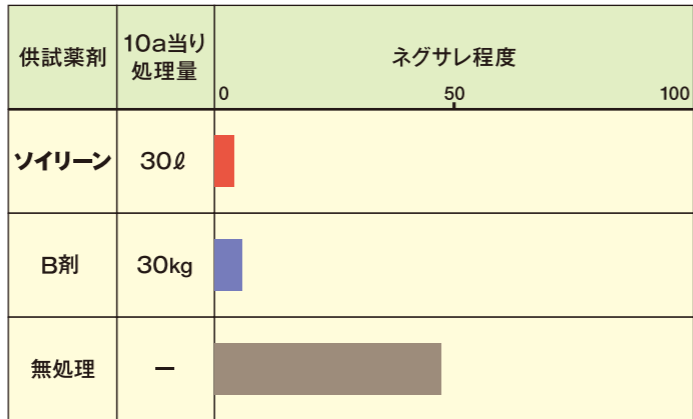
供試品種:グリーンスター 発生程度:甚発生(接種) 処理方法:8月19日に供試薬剤を30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、農ボリで被覆した。8月26日に被覆除去、ガス抜きを行なった。播種日:8月27日 調査:9月1日から7日までの間の出芽後立枯苗数を調査した。

結果:オクラ苗立枯病に対してソイリーンは優れた効果を示した。

■ 線虫類防除効果

ニンジンのネグサレセンチュウ

(平成10年、北海道植物防疫協会)

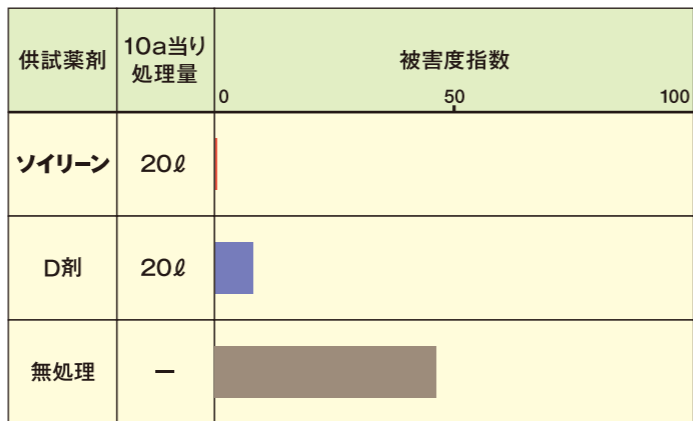


供試品種:夏蒔鮮紅五寸 発生程度:中発生 処理方法:6月17日にソイリーンは30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、農ボリで被覆した。6月29日に被覆除去、ガス抜きを行なった。D剤は、播種直前に播溝に処理し土壌混和した。播種日:7月1日 調査:9月28日に被害調査を行った。

結果:ネグサレセンチュウに対してソイリーンは対照B剤と同等の優れた効果を示した。

ダイコンのキタネグサレセンチュウ

(平成14年、日本植物防疫協会研究所)

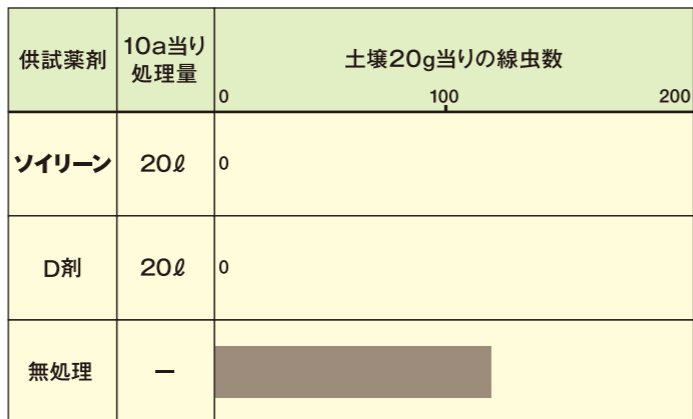


供試品種:夏みの早生3号 発生程度:少発生 処理方法:4月15日に供試薬剤を30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、農ボリで被覆した。4月24日に被覆除去、ガス抜きを行なった。播種日:4月26日 調査:7月5日、根部表面の加害痕発生程度を調査した。

結果:キタネグサレセンチュウに対してソイリーンは対照D剤に勝る優れた効果を示した。

カンショのサツマイモネコブセンチュウ

(平成13年、日本植物防疫協会研究所 高知試験場)



供試品種:土佐紅 発生程度:少発生 処理方法:5月21日に供試薬剤を30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、農ボリで被覆した。6月5日に被覆除去、ガス抜きを行なった。植付日:6月5日 調査:10月23日に土壌を採取し、線虫密度を測定した。

結果:サツマイモネコブセンチュウに対してソイリーンは対照D剤と同等の優れた効果を示した。

■ 雑草防除効果

試験成績

※数字は本数・g/m² (平成12年、社内圃場試験)

薬 剤	10a当り薬量	メヒシバ		スペリヒユ		カヤツリグサ		その他広葉		合計	
		本数	重量	本数	重量	本数	重量	本数	重量	本数	重量
ソイリーン	20ℓ	1	0.1	0	0	12	2.5	0	0	13	2.6
	30ℓ	0	0	0	0	3	1.1	0	0	3	1.1
C剤	20ℓ	2	3.8	7	43.4	18	9.9	0	0	27	57.1
無処理	—	29	50.6	48	508	20	3.8	6	1.5	103	563.9

試験概要:6月21日に所定量の薬剤を処理し、農ボリで被覆した。7月3日(12日後)にガス抜きを行い、そのまま放置した。8月3日(43日後)に雑草生育程度を調査した。

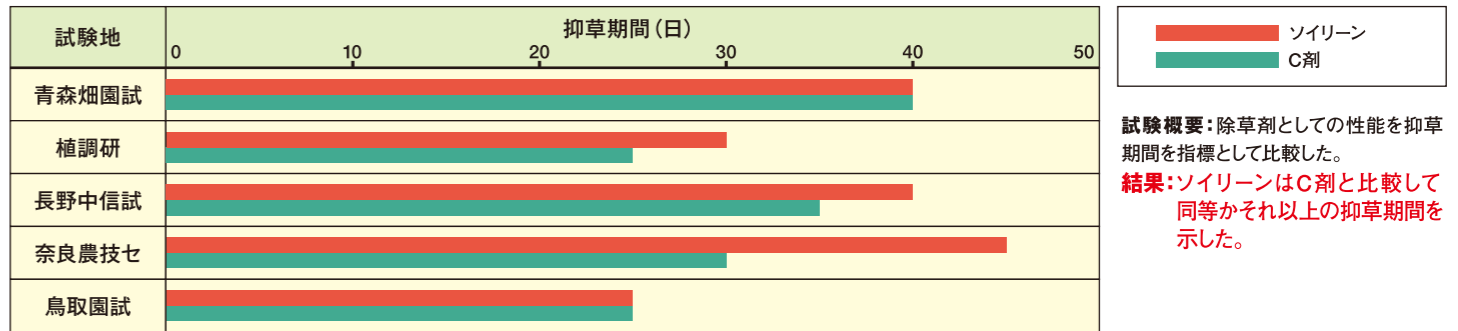
結果:ソイリーンはC剤に比べて雑草防除効果が優れていた。

雑草防除効果



除草効果

(平成12年)

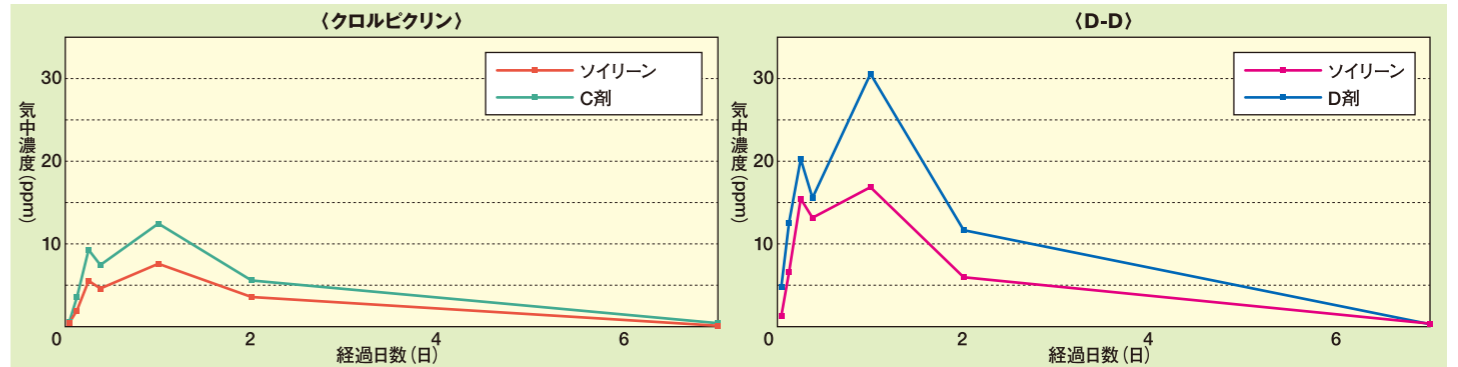


試験概要:除草剤としての性能を抑草期間を指標として比較した。
結果:ソイリーンはC剤と比較して同等かそれ以上の抑草期間を示した。

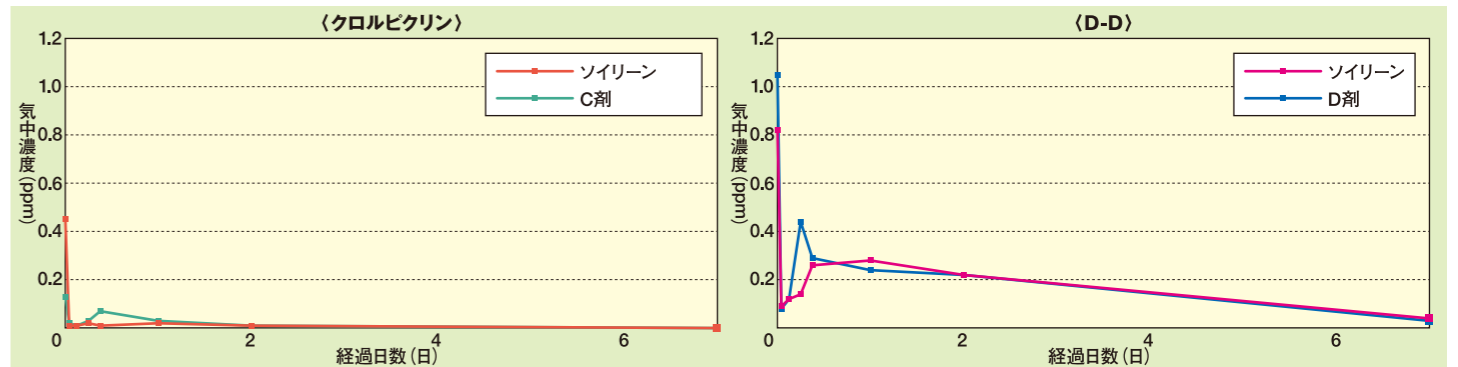
■ ソイリーン処理時の環境調査

(平成12年、社団法人 日本くん蒸技術協会)

1. ハウス内の気中濃度の推移



2. ハウス周辺の気中濃度の推移



試験方法:8月22日に供試薬剤を30cm間隔千鳥状(地下15cm)に注入処理し、被覆した。薬剤処理直後から9月1日までのハウス内・周辺の気中濃度の推移を測定した。

結果:ハウス内、ハウス周辺の気中濃度の推移は処理作業開始から上昇し、1日後にピークに達した後、日数の経過とともに減少した。ソイリーンはC剤及びD剤に比べて低い値を示していた。